



みなと

みなと 43号 2014年6月1日
 兵庫県声の図書赤十字奉仕団
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
 日本赤十字社兵庫県支部内
 (TEL)078-241-9889 (fax)078-241-6990
 代表者 大下 操
 編集者 本川 勝子

平成 26 年度声の図書赤十字奉仕団総会

平成 26 年度総会は、4 月 19 日(土)10 時より 7 階大会議室で開催されました。
 団員数 128 名、出席者 54 名、委任状提出 72 名(総会当日 10:00 受付報告数)
 支部より、逢坂事業部長、日下奉仕課長、のご出席をいただきました。

司会は赤木 直美さん(あかりの会)、議長に羽島 敦子さん(はあもにい)を指名、25 年度の活動報告、収支決算報告を承認、続いて 26 年度の活動予定案と収支予算案の提出、それぞれ全会員一致で承認され、さらに平成 26 年度運営委員を紹介され無事総会を終了しました。

任期満了の役員、副委員長 久保麗子さん、書記 久保田加奈女さん、会計 佐竹洋子さんの 3 名は退任され今年度新役員に、副委員長 上原恵子さん(あかりの会)、会計 中桐美齢さん(ともしび)、本川勝子(ことばの花束)が承認されました。

任期を終えられた久保麗子さん、久保田加奈女さん、佐竹洋子さん、2 年間の活動に感謝いたします。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

26年度 本部役員

委員長	大下 操 (青 年)	留年
副委員長	中山 君子 (神戸 YWCA)	留年
副委員長	上原 恵子 (あかりの会)	新任
書記	本川 勝子 (ことばの花束)	新任
会計	中桐 美齢 (ともしび)	新任
会計監査	平野 治子 (こすもす)	留年

☆よろしく お願いいたします☆

総会終了後支部から逢坂事業部長、日下奉仕課長に参加していただき、来年は日赤125周年。記念事業のお話を交えたご挨拶を頂戴しました。いつも声奉の活動にご協力いただき感謝しています。今後ともご指導よろしくお願い致します。

続いて司会者のリードで懇親会が開かれ、8 テーブルに別れて座り昼食を共にしながら親しく話し合いがなされました。のち話の内容を報告して、楽しい雰囲気の中最後に赤木さんのみごとな手品で懇親会は終了しました。

前本部役員の皆様からひとこと

副委員長

みなさま、2年間ありがとうございました。と言ってもそのうち10ヶ月も病欠し、ご迷惑やご負担をおかけしました。病気とは無縁の元気印でしたが、今回は病気の方の気持ちや辛さを経験しました。私に与えられた試練かも知れません。その時に、暖かく支えていただきました。感謝と御礼を申し上げます。

微力ながらと思いつつ、スキル不足で立ち往生。適材敵所による選出でなく順番で本部役員になったために、心苦しい日々でした。他の役員さんの負担になったと思います。

ホントごめんなさいね。

健康でこそその活動。どうぞ、検診を忘れずに！

あかりの会 久保 麗子

書記

2年前、大役を終え清々しい顔で退席される前役員を横目に見て、2年後私も同じように、すっきりとした気持ちになれるのかしら・・・と羨ましく思っていました。そして、私も清々しい気持ちというか、ほっとした気分です。

書記の仕事を始めた当初、「みなと」を作る時もイラストの挿入すら解らず、パソコン画面に向かって絶叫していたことが、今では懐かしく感じられます。最後まで、よく間違えました・・・エキスパートにはなれませんでした。団員の皆様には温かく見守っていただきました。

運営委員会・学校講習・50周年記念行事など、いろいろな場面で団員の皆様の行動力・結束力を目の当たりにし、圧倒され続けた2年間でした。これからは、一団員として声奉のお手伝いのできればと思います。ありがとうございました。

はあもにい 久保田加奈女

会計

会計を終えて

4月19日、総会において25年度の決算を終え、肩からスーッと力が抜けていきました。2年間大きな会計をお預かりして、無事この日を迎えられるのも、ご協力いただいた団員並びに役員の皆様、何かとサポートしていただいた支部の方々のおかげと、心より感謝いたしております。

役員を経験して、声の奉仕団がいかに多くの方々の熱心な活動の上に成り立っているかを実感いたしました。また、初めて親しくお話を交わした団員の方も多く、今後活動していくにあたり、大切な宝物を頂いた思いです。

本当にありがとうございました。

そよかぜグループ 佐竹洋子

新本部役員のひとつこと

副委員長

パソコンは苦手、お金の計算も大ざっぱな私なので、どんなことをするのかわからないまま、大胆にも副委員長をお引き受けしてしまいました。

今まで、難しいことは素通りしてきたことが悔やまれる・・・。

でもこの機会にひとつずつ覚えていきたいと前向きに！大変だよ！ではなく、楽しんでやって行きたいです。

いろいろ教えて下さい。よろしくお願いいたします。

あかりの会 上原恵子

会計

気がつけば声のボランティアを始めて10年が経っていました。

私でできる事なら、とグループ内の仕事や運営委員はしてきましたが本部委員は、まだ経験がありません。

家計簿もつけていない私に会計役が務まるのか不安ではありますが2年間頑張りますので宜しくお願いいたします。

ともしびグループ 中桐美齡

書記

先が見えてきた私にとって、今日が一番若い日なので、一日一日を大事に生きたいと思えます。こんな私でも何か役立つことがあればと思い引き受けました。認知症ぎみですが、なるべくご迷惑をかけないように努めます。

皆様の暖かい心に甘えて、2年間頑張ります。よろしくお願いいたします。

ことばの花束 本川勝子



奉仕課より

今年度もよろしく願いいたします



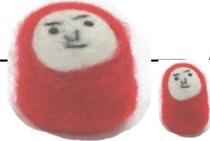
平成26年度がスタートして、早2か月。奉仕課職員は昨年度と同じメンバーですので、本年度もどうぞよろしく願いいたします。

昨年度を振り返ってみますと、普段の活動に加えて奉仕団創立50周年式典、リスナーさんとの交流会、東日本大震災の被災者との交流など、奉仕団の皆様にとっては大変多忙な1年となりました。これだけのことができたのも、団員相互の協力と連携がうまく図れ、常に前向きに、決して諦めることなく取り組んでいただいた結果であると思います。皆様方のご努力に心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、以前は「10年ひと昔」という言葉がありました。今ではもう死語となり、社会情勢も数年単位あるいは年単位で大きく様変わりする昨今、時には立ち止まり、今取り組んでいるボランティア活動を少し高所から眺めてみることも大事なことではないかと感じています。阪神・淡路大震災から19年。ボランティア元年という言葉が生まれたのも、この大震災がきっかけです。多くの方々がボランティア活動に取り組み、社会が良い方向に向かっていることも事実ですが、ボランティアを受ける側のニーズとボランティアを行う側の内容とがうまく噛み合っているのか？ボランティアを行う側の押しつけや自己満足、そういった状況になってはいないか？受け手側の「ありがとう」の言葉の裏に、でもちょっと…。そんなことって結構多いのではないかと。

ボランティア活動は自発的な意思により行われるものですが、時には原点に立ち返り、受け手側のニーズに本当に合っているか？ということを検討してみることも大切ではないかと思う今日この頃です。

(奉仕課長 日下 幹生)



昨年は、50周年の記念行事など、いろいろお疲れ様でした。

次の50年に繋ぐ第一歩ですね。

さらに良いものをリスナーさんに届けてください。

(ボランティア係長 松本和子)

【趣味】映画鑑賞

イチオシ映画？ トイストーリー



入社1年目であった昨年は、右も左もわからない状態でしたが、多くの皆様に支えていただき、頑張ることができました。本当にありがとうございました。今年も明るく元気に頑張ってまいりますので、よろしく願いいたします！

(主事 足立和愛)

【最近のお気に入り】

実家の愛犬”太郎君”



声奉さんからはいつも、やる気、優しさ、感動をもらっています。未熟な奉仕課 4年生ですが、今年も頑張ってまいります！

おいしいお店やお菓子、声奉さん一押しの本があれば、ぜひ教えてください。(主事大宅佑果)

【好きな食べ物】？ ・クリームパン・お好み焼き・野菜カレー・佐賀牛の焼き肉・地元の豆腐とごまどうふ・よもぎもち・かんころもち・大宰府の梅ヶ枝餅・明治ブラックチョコレート・東京ばなな・治一郎のバームクーヘン・五島うどん・カシューナッツ・芋かりんとう・海苔・他



デイジー班だより

デイジー班では、奇数月の第一月曜日にミーティングを行い、より良い CD 図書作りを目指して、さまざまな議題に対し意見を出し合っています。そのひとつに毎月当番制で「声のアルバム」のモニターをしております。他のグループのモニターをすると、編集の仕方や音のレベル合わせ・番組作り等、自分のグループの編集だけをしていると気づかない面もあり、良かった点・改善点が見えてきます。最近では技術面でのミスも少なくなり、とても聴き易くなったと感じています。団員ひとりひとりがデイジー作業に慣れてこられた努力の賜物でしょう。技術面以外でも、内容や口中音削除等に関して感想が寄せられており、次号の番組作りの参考になると思います。これからもご協力お願い致します。

受け入れチームでは、あかりの会・あけぼのグループの皆さんと協力して作業を行っています。毎回同じメンバーで作業するわけではありませんし、新しく入団したメンバーにも理解できるよう努めています。CD とリスナーカードは最後までセットし、記入漏れがないよう気をつけます。最近では CD の傷やケースの破損も減ってきました。きっちり受け入れをすることで、発送チームにつなぐことができます。最近では発送チームとの連絡を密にすることで、スムーズな作業ができるようになりました。先日ミーティングで出た問題点の中に、以下のような意見があり、すぐに話し合われました。

*返却がなくても 1 年送り続けているリスナーさんに対して（特に連絡不可）の場合はどうすればよいか・・・ 13 ヶ月目にお手紙（返っていないがとめましょうか）を入れてはどうか。

その際、リスナー名簿で（点字・大活字・墨字）等を確認する。文章のサンプルを考えてみる。

最近減ってきたお便り対策については、各グループで話し合ってもらう必要があります。各グループでの話し合いをお願いします。

デイジー班では新しい機器が入ったり配置が換わったりと、その都度対応していかなければならず、日々新鮮な毎日です。これからも、より良い「声のアルバム」・単行図書作りを目指して、ご理解とご協力をお願い致します。

受け入れチーム 久保田加奈女



点字班

点字班の代表となって

点字班が発足して9年になります。その中心として班を纏め指導されて来られた福井さんの希望により代表を交代する事になりました。

私は班に入って4年、点字の知識や障害の方々の理解など充分とは言えません。点字を学びたいと思ったのは福井さんの魅力でした。視覚障害の方の友人も多く皆様の気持ちを大切にされています。点字に詳しく疑問にはすべて答えていただけます。点字の読みは凸面の左から右に読む、マス開けは決まり事である、6点打ちを覚えるとパソコン入力時に便利であるなど新しい学びにわくわくしました。これまでの感謝の気持ちからも何かお役に立てればと引き受けました。

点字班は各テープやCDのラベル・子どもたちへのメッセージ集の点訳冊子・メッセージカード・単行図書目録などの作製、そして点字お手紙の読み取りや交流会のプログラムと年間作業は決まってきました。

代表として「何を」と思っていますが、例会で意見交換しながら運営の流れをこれまで通りスムーズにすることだと思います。

学校講習も大切な活動です。講師やサポートを務めるには点字をすらすら読めるのが理想です。しかしこれがとても難しいのです。打刻する凹面、読み取る凸面、同じようで異なるので混乱します。何年経ってもマスターできません。覚えの速い子供達の柔らかな心と頭に感動しつつも反省もしながら今日にいたっています。

例会と作業を6月から第2木曜日の10時から3時としました。変わったことで何かとご迷惑をお掛けするかもしれませんがどうぞよろしく願いいたします。また点字の学習も続けて行きます。関心のある方はどうぞいつでもおいで下さい。お待ちしております。

門田真弓美(ことばの花束)



朗読・音訳を見直す会

平成 22 年、録音図書を製作する上で、グループによっていろいろ考え方があって、日赤声の図書として、統一を図らなくてはいけないのではないか、と言う

ことで発足したのが「見直す会」でした。全体のレベルをそろえ、なおかつアップさせて行こうと言うことで、勉強会を企画したり、PHP のテープを試聴したりしながら、「兵庫県声の図書赤十字奉仕団録音図書製作マニュアル」をまとめて平成 25 年 6 月 1 日付けで、お配りする事ができました。

さて、これからの活動をどうするかを考えた時、やはり、アップして来たレベルを保ち、さらに上を目指すためには、製作された録音図書のモニタリングや、勉強会の企画開催は続ける必要があるのではないか、という考えに至りました。平成 20 年 6 月には、CD 版「声のアルバム」もスタートし、各グループで試聴されています。そこから上がって来る意見を見ても、まだまだいろいろ問題点も出て来ていますので、「見直す会」の活動も必要なのかなと思います。奉仕団みんなの録音図書ですから、いつも向上心を持って、製作して行きたいものです。よいものを、リスナーの皆さんにお届けできるように、「見直す会」の活動を、続けて行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

はあもにい 阿部陽子



朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳に必要と思われることを発信しています。
今回は、「日本」の読み方についてです。

Q: 銀行・証券関連など最近のニュースで、企業名を含めて「日本」という言葉がよく出てきますが、「ニホン」か「ニッポン」か読み方はどうなっているのでしょうか。

A: 両方の読みがあります。

NHKでは、「日本」を正式の国号として使う場合は「ニッポン」、そのほかの場合は、言葉に応じて読み分けています。(日本政府としては、国名としての「日本」は「ニッポン」と読むことに決めています。これは1970年に佐藤栄作内閣が閣議決定したものです。)

「日本」の付く語としては・・・

(1)「日本」と(2)「日本～」「～日本」があります。

このうち(1)については、正式の国号として使う場合は「ニッポン」。

そのほかの場合には「ニホン」と言ってもよいとしています。

「日本」が付く語の実際の読みについては、

[ニホン]と読む語 日本画、日本海、日本髪、日本橋(東京)、東日本、日本酒、
日本晴れほか

[ニッポン]と読む語 日本(国号)、日本国民、日本橋(大阪)ほか

[ニホン]または[ニッポン]と読む語 日本一、日本記録、日本語
ほか

[ニホン]を第1とし、[ニッポン]を第2とするもの 日本アルプスほか

以上4つのケースに読み分けています。(NHKことばのハンドブック P138)

ちなみに、応援の場合には歯切れの良い「ニッポン」が定着しています。

ワールドカップ・サッカー等では、日本チームの快進撃を期待して「ガンバレ！ニッポン」。

固有名詞をよぶときには、それぞれが決めている呼称を尊重する必要があります。

たとえば「日本大学」は「ニホンだいがく」で、

日本銀行・日本郵政公社などは「ニッポン」のほうをとっています。

NHK放送文化研究所・2004年4月「放送研究と調査」より

こすもす 神坂順子





平成 25 年度 単行図書貸し出しランキング表

2013.4.～2014.3.31

	書名	著者名	貸し出し開始日	貸し出し回数
1	原発のウソ	小川 裕章	2012.08.	7
2	ええもんひとつ とびきり屋見立て帖	山本 兼一	2011.11	6
	幻色江戸ごよみ	宮部 みゆき	1999.1	6
	財布のつぶやき	群 ようこ	2013.07	6
	月島慕情	浅田 次郎	2011.06	6
	とんび	重松 清	2012.07	6
	蝸の記	葉室 麟	2012.11	6
	舟を編む	三浦 しおん	2012.09	6
	ぼんくら	宮部 みゆき	2013.1	6
	まねき通り十二景	山本 一力	2013.07	6
3	居眠り磐音江戸双紙 陽炎の辻	佐伯 泰英	2010.05	5
	紅梅	津村 節子	2012.09	5
	時雨みち	藤沢 周平	2012.06	5
	何があっても大丈夫	桜井 よしこ	2009.09	5
	日暮れ竹河岸	藤沢 周平	2010.01	5
	フリーター家を買う	有川 浩	2013.12	5
	利休にたずねよ	山本 兼一	2009.06	5
4	綾子 光世 響き合う言葉	三浦綾子、光世	2010.02	4
	医者に殺されない47の心得	近藤 誠	2014.01	4
	算法少女	遠藤 寛子	2007.06	4
	空耳アワワ	阿川 佐和子	2013.03	4
	八朔の雪	高田 郁	2013.11	4
	阪急電車	有川 浩	2010.12	4
	蛍袋	山脇 唯生	2005.03	4

今年度は順調に録音図書も増え、貸出本が多岐にわたっているようです。
リスナーの方がいろいろな本を聞いてくださっていることにつながっていると思います。
これからも単行本の録音をよろしく願いいたします。

花時計プログラム

花時計 4月号 神戸YWCA

1. 西宮酒蔵の街を訪ねて
2. 「みんなの歌」半世紀
3. 宮島・厳島神社を訪ねて
4. 嚙下障害とつきあって
5. デイジー単行図書のご案内
6. リスナーのお便りコーナー
終わりの挨拶

花時計 5月号 こすもす

A面

1. まど みちお特集
2. 河合和子の旅だより
「北フランスモンサンミッシェルへの旅」
3. 野の花だより 「深山桜」

B面

4. 暮らしの手帳すてきなあなたに
「お礼は心で」
5. 短編「がたんごとん」 朕乃月音
6. 松井孝雄のお酒のエッセー
「まぼろしの泡盛」
7. 新しい単行図書のご案内
8. お便りコーナー
終わりの挨拶

みなと42号(2014/4/1)花時計プログラムの奏者名を誤植しました。
 ここでお詫びし申し上げ訂正いたします。

花時計 2014年1月号 ともしび

A面

- ・インタビュー 中桐美齡
- ・南アフリカ共和国 マリンバ・ジェンベ

奏者 ジョセフ・ンコシ

B面

- ・インタビュー 大林千秋

2013年11月17日神戸マラソンを完走した
リスナーの浜田美智子さん

- ・2013年11月23日
第24回交流会の報告 レポーター 永井万里子

